

議事要旨(3) EFRAG 討議資料「会計基準の影響に関する検討」へのコメント対応について

冒頭、西川委員長より、本年1月に欧州財務報告助言グループ(EFRAG)により公表された討議資料(DP)「会計基準の影響に関する検討」(コメント期限:2011年8月31日)について、事務局にてコメント案を取りまとめた旨の説明がなされた。その後、関口専門研究員より、審議事項(3)-1及び(3)-2に基づき、これらについて具体的な説明がなされた。

説明の後、委員等からの主な発言及び事務局からの説明は、次のようなものであった。

- あるオブザーバーから、質問4(影響の検討時点)への回答について、趣旨が曖昧であり、表現を明確化すべきではないかとの発言があった。これに対して事務局からは、ご指摘の通り対応を検討する旨の回答があった。
- あるオブザーバーから、質問8(影響の範囲)において、影響度分析の範囲の対象にマクロ経済的影響も含めるべきかについて回答が求められているが、財務報告の目的に照らして影響を測定する場合、そもそもマクロ経済的は中立的であるはずではないかとの発言があった。これに対して事務局からは、ご指摘を踏まえた修正を検討する旨の回答があった。
- ある委員から、質問3(影響度分析の実施主体)への回答において、「基準設定主体だけで、意図された目的を達成するのは困難である可能性がある。」との記載があるが、会計基準設定主体が公正、中立且つ幅広いメンバーから構成されていることを考えると、当該記載は不要ではないかとの発言があった。これに対して事務局からは、当該記載を削除する方向で検討する旨の回答があった。

以上